



2017年9月25日  
2017年度第5号・通算23号

◇◇ 東京あおぞら連絡会事務局 ◇◇

発行責任者: 大島文雄

Tel : 03-6912-1656

Fax : 03-6304-1418

## あと半年間必死に動く

突然の国会解散・総選挙がほぼ確実となった9月20日はフル稼働の一日となりました。

この日午前、あおぞら連絡会は第3回常任理事会を開き、この間

の活動報告と年内の取り組みを確認。「患者会一日合宿」(11月19日10:00~16:00 全林野会館)の参加と「第2回理事会」(12月14日18:30~東京地評会館の予定)の開催を決定しました。

会議では吉川理事長からケガで治療・自宅療養されていた清水鳩子さんの近況が伝えられ、会館理事長の職務に復帰、早く元気な顔を見せたい、一日合宿には行くつもり!の話しにホットとしました。また午後は、患者会が都議会開会日行動に参加したあと今月3回目の国会議員要請をおこない、国会解散直前の9月27日も予定どおりやりきること、そのあと国会対策プロジェクトの開催を確認。

現行都条例の「自己負担導入」(2018年4月1日)実施まであと半年、何としても国レベルの「医療費救済制度創設」にメドを立てる必死の動きが始まっています。

### 諸々の報告・確認

#### 国会議員に伝える熱意。9月に連続4回の要請訪問。

国会請願署名が9/19現在、全国127,000分(うち東京79,000名分)が集約され、この9月には4回連続の超党派の紹介・賛同議員の働きかけがおこなわれます。

すでに6日、14日、20日と3回続き、52名(うち連絡会から10名)が参加。東京・千葉・埼玉選出議員(二回)、愛知・兵庫・福岡選出議員とのべ131名の議員を訪問。

臨時国会冒頭の国会解散。その前日の27日に予定している第4回もやり抜き、総選挙後に継続します。92歳の高齢の岩崎さんの訪問に驚く議員秘書さんや回を重ねて顔見知りになってきた秘書さんも多くなり、「救済制度を!」の熱意がジワジワと伝わり始め紹介・賛同議員は28名に達しました。

#### 会議日程

◇患者会「一日合宿」 11月19日(日)

10:00~16:00 全林野会館

◇連絡会第2回理事会 12月14日(木)

18:30~ 東京地評地下会議室(予定)

排ガス規制の強化や緑化(常緑樹)と自転車ネットワーク整備を求める動き、ミナマタ・フクシマ・アスベスト連帯の取り組み等については次号で紹介。



原発被害者訴訟千葉地裁が不当判決。吉川理事長が怒りの連帯あいさつをしました。(9.22)